

経営比較分析表（令和6年度決算）

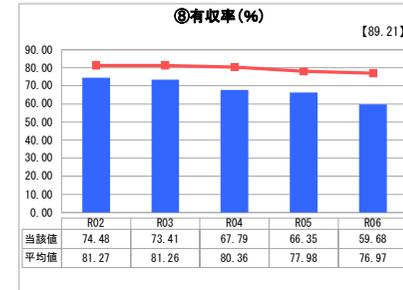
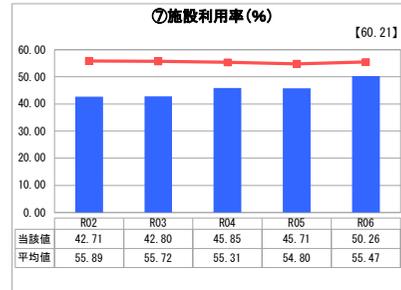
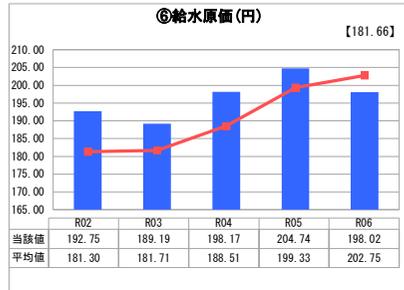
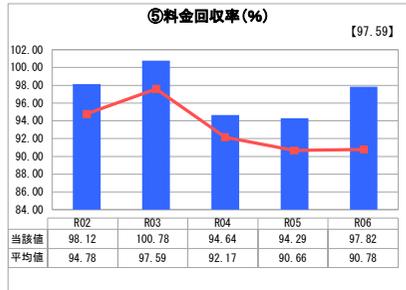
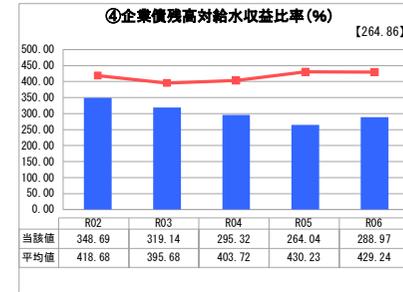
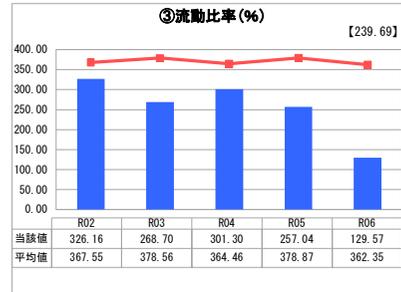
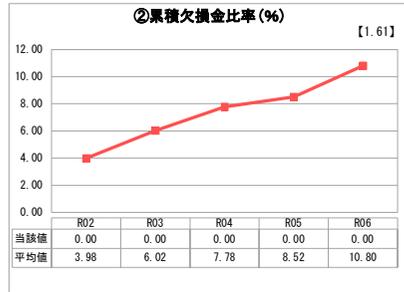
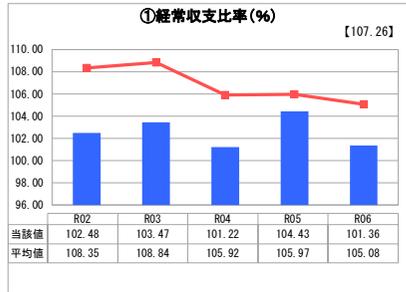
和歌山県 串本町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	71.42	104.35	3,490	

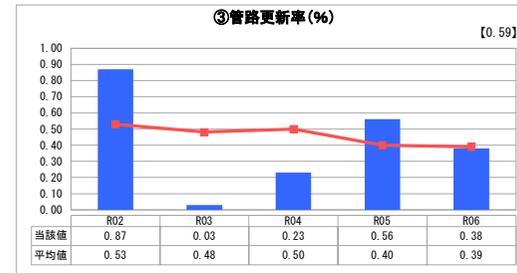
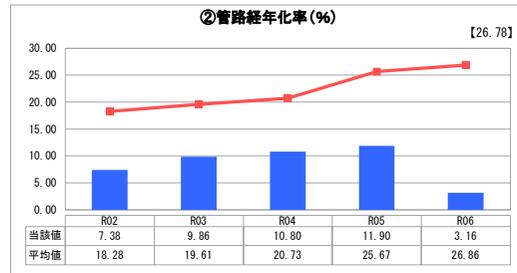
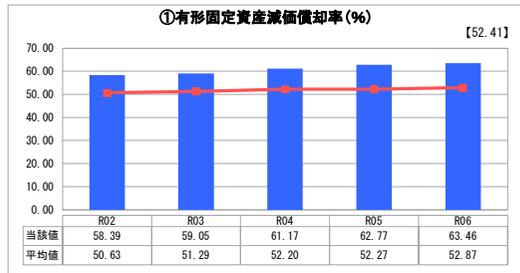
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
13,924	135.67	102.63
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
14,357	69.80	205.69

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性については、経常収支率が前年度比3.07ポイント減となったが、依然100%を上回ることが出来ている。流動比率は100%を上回っているが、企業債借入れの影響により前年度比127.47ポイントの大幅減となった。

効率性については、料金回収率は前年度より上昇したものの100%を下回っており、給水原価は減少したことにより類似団体平均を下回った。

有収率はここ数年下がりが続き、早急に対策していく必要がある。

今後も動力費等の経常費用の削減に努めていき、また、有収率については令和7年度も引き続き漏水調査員による漏水調査の手法を取り入れることにより有収率向上につなげていきたい。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は増加し続けており、老朽化が進んでいる状態であり、管路更新率については前年度より0.18ポイント減少した。

引き続き修繕・補修等により現状維持を行いつつ、計画的に更新を進めていく予定である。

全体総括

料金回収率が100%を下回っていることや施設等の老朽化の進行、有収率の減少など複数の課題を抱えており、計画的な改善が必要な状況である。

また、高速道路関連の配水管移設工事や施設改善工事に伴う企業債借入により、今後も一定の財政負担が見込まれる。

こうした状況を踏まえ、計画的な施設更新の実施及び有収率向上対策を着実に進めるとともに、経費の効率化を図り、持続可能な経営基盤の確立に努めていく。